



タック & ドンキーワールド

Takku & Donky

発行：NPO 法人マンボウの会

(発行：庄子裕子)

〒854-0011 長崎県諫早市八天町6-17

電話・FAX (0957) 22-9569

Eメール manbow1388@yahoo.co.jp

ホームページ

<http://www.geocities.com/manbow7jp/donky2003/>

ドンキーワールド・タック (出張所)

就労継続支援B型事業所

工事関係者様に感謝

新橋歩道の段差解消



施工前 (橋と道路のスロープがきつかった)



工事中



施工後 (スムーズに歩道にあがれます)

5月末、本明川の新橋の歩道の工事が行われました。私がドンキーに来て以来、新橋の歩道へ上がるところが急になっており、いつも危険を感じていました。

そこで、「バリアフリーワークショップ」の記事に絡めて、前号の機関誌に書いたところ、市議会議員や役所の方が関心を持って読んでいただき、さっそく工事がはじまりました。またこれにより、車椅子はもちろんですが、お年寄りの方や乳母車なども、楽に通行できるようになったと思います、喜んでます。しかし、目が不自由な方には点字ブロックが必要でないかと思えます。市議会議員や役所の方をはじめ、この工事に携わられた多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

現在私は、ドンキーの仲間と手話の勉強をしていて、検定も今年こそはと思っています。これも、言葉のバリアを少しでも無くそうと思い、頑張っております。

木寺 康則

【他のメンバーからも一言】良いことがありました。ドンキー横の本明川にかかる「新橋」の両側が舗装してあり、歩行者も車椅子の方もスムーズに行けるようになりました。工事に携わってくださった方、本当にありがとうございました。

スピーカーで売上げアップしています

いよいよ、長崎でも梅雨が本格化し、県内で大雨による被害が出ています。「雨はほしいが、被害はたくない」というのが本音ですが、自然には勝てませんね。

さて、パン部門では、2台の車両にスピーカーが付き、移動販売は順調に売上げをアップしています。その効果は大きなものです。ある販売場所ではスピーカー使用前が3~6人だったのが、使用後は3倍近く増えました。

販売時のミュージック(草競馬)を覚えてもらった個人宅では「1週間が待ち遠しかった」、「そこらのケーキよりうまい」などと言ってくれるので、販売のしがいがあり、嬉しく思います。お客様のニーズに応えるべく、これからも努力と勉強をしなければなりません。

宮浦 満

イラストレーターをマスターしたい

～もっとガッツリ成長します～

私がドンキーワールドに通所するようになり、もう1年半が過ぎました。毎日タックでおいしい昼食（おいしいコーヒーも）を頂けるおかげで少し太ってしまいました。それは運動不足なので、天気の良い日は自力で自宅に帰るようにしてみました。その効果もあってか先日、かかりつけの病院に受診して体重を計ったところ、3キロやせていました。今までは、受診して体重を計るたびに増えていたので体重計にのるのが怖いという気持ちがありました。でも今回はやせていたので、初めて主治医の先生にほめられました。

先生からは、「運動しないよりはずっと良いから、これからも無理しない程度に続けてください。」と言われたので、頑張っって継続していきたいと思います。

ところで、本職の印刷の件ですが、最近は先輩方に教わりながら「のぼり」の研究や、イラストレーターの勉強をしています。太白様からよく仕事を頂くのですが、その時はほとんどイラストレーターを使って作成しています。イラストレーターは、なかなか難しいですが先輩方に教わりながら徐々に頑張っって覚えていきます。

私は学生時代から作文など文章を書くことが苦手でしたが、ドンキーワールドで機関誌を発行するたびに原稿を書くことによって、ずいぶん慣れてきました。毎回原稿の内容を何にするか悩みますが、今以上に内容を充実させて、皆様に楽しんでいただける機関誌を作れるように、印刷部三人で協力して取り組んでいきますので、何か記事にしてほしい内容がありましたら、教えてください。

これからはもっと成長しないといけない時期なのですが、私は先輩方のようにまだパソコンをバリバリ使えこなせません。だからといってこのままではいけないと思います。まずは、自分のできる仕事を着実にこなしてみんなから頼られるような存在になれるようにします。

森 大輔

あなたのお店の力になる印刷
のぼり・名刺・ハガキ・企画・デザイン

電話：0957-22-9569
ドンキーワールド印刷部 担当：上原



パンが売れた時が一番嬉しい



ドンキーに来る前の作業所では農作業の仕事をしていて、野菜などを育てて近くのスーパーに納品していました。自分達が一生懸命育てた野菜が売れた時は嬉しかったです。自分は人と接することが好きで、ドンキーではパン販売をしています。

ドンキーに来るようになったのは、以前から福地さんと顔見知りでしたので誘われたのがきっかけです。

パンを買ってもらった時が一番嬉しいし、『もっとパンを売ってやるぞ！』という気持ちが出てきます。これからも、お客様にパンを買ってもらえるようにもっと積極的にコミュニケーションをとって、パンの売り上げに貢献していきたいと思っています。

平古場 晃

（販売車のスピーカーでお客様の呼び込みをしている平古場さん）

意識改革

印刷部、独立を目指して!!

ドンキーワールドの今年の目標の一つとして印刷部の強化をし、メンバーが充実して働きやすい環境を作ることです。そのために五月の下旬から、デザイン・印刷の知識や美に関する感覚も持ち備えた指導員が、専属で入りました。

とにかく印刷部のメンバーがそれぞれの力を出し、売り上げを上げることが大切なことだと思います。売り上げが上がれば工賃が上がり、メンバーの生活に意欲が出て、心に豊かさが生まれます。それが働く意味なのだと思います。そのために今の仕事と新たな仕事とのバランスが必要だと思います。営業回りをを行い、どんな印刷物でもできる技術を身につけて、メンバーがバリバリ仕事のできる環境を整備したいものです。

私が企画した DVD 関係の仕事もポチポチと注文が入り、売り上げも上がってきました。しかし、初めての試みで機材のビデオデッキも寄せ集めでした。画像がぶれていて編集が上手くいかず、お客様からクレームがきたり、また別のお客様から、昔写した 8 ミリビデオを DVD に焼き付ける注文を 34 本も頂いた時には、機材（8 ミリビデオデッキ）を見つけるのに本当に苦労しました。

また中古で購入した 8 ミリビデオデッキが壊れてしまい、思うように取り込み作業が進まずイライラした時期もありました。お客様の大切な思い出が詰まった 8 ミリビデオを見ると、引き受けた限りはどんなことがあつ

ても完成させる。それが本当の責任ある仕事だと思います。

他のメンバーも、市役所から注文を受けた名刺や、諫早で開催されているナイスハートバザールのチラシを印刷したり、商店街飲食店のメニューポップなどを作成しています。大判プリンターでつくる横断幕、のぼりの注文もあります。年末は年賀状の印刷の注文もあります。

なかなか売り上げがあがらず印刷部のメンバーの工賃が出るかでないかの状態もありますが、今の印刷部のメンバーに求められるのは理屈ではなく実績を上げて売り上げを上げることです。これからは印刷部のメンバーを増やして、ドンキーワールドの目標として独立した場所を借りて車椅子でのびのびと働けて、自分たちの力を出してお客様に喜んでもらえる印刷物にしたいし、少しでも多くの工賃が稼げる職場にしていきたいです。ドンキーワールド印刷部の仕事が、自分の生活の糧となり、悔いのない人生にしていきたいと思っています。

現在私たちといっしょに、印刷部を盛り上げてくれるなかまを募集しています。

大賀 誠



ロンとチコの二人組

チコ・・・もうすぐ梅雨明けだね。

ロンロン・・・昨年より暑い夏になりそうだよ。

チコ・・・ドンキーのみんなに楽しい夏の過ごし方を教えてあげる、本名川の水風呂につかることだよ。

ロンロン・・・それは私達のことだろう、!!

新しいなかま2名

たけむら たかし
竹村 孝 さん (5月9日より通所)

私は病気になる前に、大手デパートで呉服販売をやっていました。お客様といろいろな話ができる接客が好きですね。なので、今のパン販売も好きです。パン販売も呉服も、人間関係が大切だと思います。

病気で会話しづらくなってから、少し販売が苦手な感じがします。前は冗談を言いながら接客していました。でも大切なコミュニケーションは会話以外でもできます。大切にしていることは「おもしろい」です。困っている人がいたら助けてあげる、協力してあげることを意識しています。

意外に思われるかもしれませんが、クルマ・フォークリフト・大型二輪の免許を持っています。実家が滋賀県なので、20代のころはホンダの750ccのバイクに乗って琵琶湖一周とかしてました。将来の夢は、いまのB型からA型を目指して、さらに正社員になることです。また営業職だと嬉しいです。皆さん気軽にドンキーに寄ってパンも買って下さいね。



ばば まさつぐ
馬場 正次 さん (5月25日より通所)

前の作業所では野菜を作っていました。実家ではお米を作っていましたから、キツイ仕事ではなかったです。

お米作りで好きなのは草取りです。農薬を使って害虫を駆除するよりも、手を掛けることで美味しいお米が出来ると思っているからです。八十八回も手を入れて大切に育てることから“米”と書くぐらいですからね。

小型のトラクターの運転も出来ます。大切にしていることは「まごころ」です。米も人間もパン販売もです。必ず伝わる何かがあると思っています。

見ての通り、体丈夫で力自慢ですが、神経質というか過敏なところもあります。でも、良く言うと気が利くということ。

パンの販売では、積極的に声掛けをして売れる所とその逆で、お客様が近寄ってくれるのを待っている方がいい所があるので、それを意識しながらパン販売をしています。これから八天町がもう少し栄えてくれると嬉しいです。



手話にも挑戦中

ガラスデコに挑戦中

私はパン販売をしています。まだわからないこともたくさんありますが、少しずつ覚えてきています。

パン販売のほかに行っていることは『ガラスデコ』です。タックの壁に私が作った作品が飾ってありますので、ぜひ見て下さい。ガラスデコを作る際に難しいのは色を入れ込むところです。本を見て、それでもわからない時は頭でイメージをしながら頑張っています。ドンキーのみなさんがいろいろと教えてくれるので助かっています。これからもよろしくお願いします。



藤田 和正

藤田さんの作品

タックでの仕事

ホールは楽しい!

私は、タックで仕事をしながら鳴滝高校の通信制に通っています。私は、タックに入る時、学生を雇うわけがないと思っていました。でも、森さんと庄子さんは「学生とか年齢とか関係ない。」と言ってくださったことが嬉しかったのを今でも覚えています。

私の簡単なスケジュールをいいますと、月曜日は、学校がある時は学校に行き、学校が休みの時はタックに出てきています。火曜日から土曜日はタックで仕事をしています。最近のタックは、当初の頃に比べて、お客様が多く来てくださっています。

お客様から「おいしかったよ。」と言われるのがなにより嬉しく思います。開店のときから来て頂いている常連様をはじめ、新規のお客様も段々と増えて嬉しく思います。お客様が笑顔で帰っていただくとホッとします。

私の担当の仕事は看板にメニューを書くことや、花の水やり、トイレ掃除(当番制)、在庫調べなどを行っています。メニューはお客様に伝わるようにいつも書きながら

考えています。花の水やりは、枯れないようにしています。在庫調べは村島さんと交代でしています。でも、私が在庫調べをすると、増えすぎたり切らしたりするので在庫確認をテキパキしたいと思います。

ホールの仕事は楽しいです。新しい仲間も増え、タックが成長するのが楽しみです。勉強との両立は難しいですが、自分のために頑張ります。私の夢は一般の仕事に就くことです。お客様に満足していただけるように頑張っていきたいです。新人さんに間違えた教え方をしないように、私も初心に戻って新人さんにわかりやすく教えていきたいと思っています。これからもフルパワーでタックを盛り上げていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。

川内 愛



言葉のバリアフリーを目指して

私が手話の勉強を始めたのは、私がドンキーワールドで働きだし、竹田さんと出会ったからです。「竹田さんとコミュニケーションをとりたい」そう思った事がきっかけでした。

もともと、手話に興味があった私は、これは手話を覚えるチャンスだと思い、本屋さんに行ってすぐに手話の本を購入し、毎日本で覚えた手話を、出勤したらまず竹田さんをつかまえて試していました。竹田さんは、いつもニコニコして、手話を教えてくれました。そうやって、少しずつ手話を覚えていくうちに、もっとちゃんと手話を覚えたい。そういう気持ちが芽生え、講習会を受講しました。

手話を勉強し始めると、自然とろうあ者の方と接する機会が増えました。ちょっと挨拶をすると、皆竹田さん同様、ニコニコして、手話ができるのか!? と嬉しそう

に話しかけてくれます。言葉が通じない外国で、日本語を話せる人と出会ったら、きっと嬉しいと思う。それと同じような感覚なのではないでしょうか?

手話も言語の1つです。テレビで見たのですが、どこかの大学では、手話を第二外国語として単位が取得できるそうです。私達は同じ日本人、言葉が通じないはずはないのです。

もし、手話を知らなくても、身振り手振りで十分。できれば、もっともっと手話ができる人が増え、ろうあ者も健聴者も、何の隔たりもなく、おしゃべりができる社会になればいいなあと思います。

6月から今年度の手話講習会が始まりました。1人でも多くの人に、手話を広められるよう、まずは私自身、一生懸命に勉強します。

言葉のバリアフリーを目指して。 中島 裕子

自信をもって

お客さんとしゃべりたい

私の名前は、村島和明といます。現在 26 歳で今年の 7 月で 27 歳になります。

小学校では 3 年生からソフトボールを始め、中学校から高校まで野球部に所属していました。高校生のとき腰を痛めたため、途中からマネージャーとしてチームの裏方役に回りました。チームメイトのため、そしてなにより自分のために、毎日グラウンドの草むしりをしていました。そこで培った忍耐力をタックでも活かしていきたいと思います。

趣味は、バイクの免許はもっていませんがハーレーダビッドソンが大好きです。あの重低音なエンジン音を街中で聴くと、思わず振り返ってしまいます。いつかは、大型の自動二輪の免許を取って、ハーレーに乗って旅行するのが夢です。他に好きな音楽を聴くことと、DVD を見ることです。最近では少し古いですが、映画「手紙」を見て一人で号泣しました。もしよかったら皆さんも見てください。

あと、個人的な趣味で、現在レザークラフトを大村に習いに行っています。自分がタックで働くようになったのも、このレザークラフトがきっかけでした。

というのは、2 月頃に諫早市民センターで行われたチャリティーバザーに行った時のことです。レザーで作った小銭入れが破格の値段で売られていたことが気になり、その売り場のおばちゃんに話を聞きました。後から分かったことですが、そのおばちゃんこそが現在働かせてもらっている、タックとドンキーワールドの代表者でもある庄子さんだったのです。

その日のうちにタックに初めて行き、森さんとも会い、ドンキーに行って、ドンキーのスタッフさんにも会い、最終的にはその後ウエスレアン大学で私用があった私は、庄子さんに大学まで送ってもらうなど、いたせりつくせりの一日だったことを覚えています。そして 5 月の中旬からタックでお世話になることになりました。

仕事は主にホールを担当しています。森さん、アイちゃん、そして厨房やホールの職員さんたちみんなとても親切で優しいです。

朝からタオルやおしぼりをたたんだり、台拭きやソースの準備などまだまだできることが限られていますが、もっと仕事を覚えて頑張りたいと思います。森さんから、「はっきり自信をもってお客様と喋りなさい」とか、「一日にひとりでもいいからお客様の顔を覚えなさい」など、いろんなアドバイスをもらっているの、そういったことを意識しながら、仕事に励みたいと思います。

村島 和明



秋の研修旅行

『やすらぎ伊王島』に決定

9月25日(日)~26日(月)



5 月の末より、秋の研修旅行をどこにしようかと希望を募ったところ、「やすらぎ伊王島」という声が多くあり、6 月の全体会議で決まりました。

皆さん、お楽しみに。実行委員さん大変だと思いますが、楽しいプランを期待しています。

新指導員『将来の夢』

みんなが使いやすい道具を作りたい!

印刷部門の職業指導員として入社した上原です。と言っても自分が一番の新人なので、分からない、知らないことばかりで初日からパンパンです。趣味は落語を聞くこと。マキントッシュ (Macintosh) 用の英語キーボードとトラックボールを集めて実際に使ってみる事です。

出身はと聞かれると地味に困ります。父親が海上自衛官で転勤族だったので、生まれは岐阜、目が開いた時には熊本に住んでいて小学校で2回転校。中学校3年生に上がるときに矢上に引っ越して来て、高校3年間は海星。たしか、卒業当時に長崎のマクドナルド1号店が出来たというニュースがあったような・・・県内にコンビニが一軒もないそんな時代でした。古いですね。

障がい者と関わるようになったベースには、パソコンのインターフェイスに整合性の取れたものが無いのは何故かと疑問を持っていたこと。キーボードの配列はメーカーや年代でバラバラ。ソフトはもっとすごいありさまで。自分が使いにくいのなら、障がい者はもっと使いにくいんじゃないかなと感じていました。クルマのハンドルとアクセルブレーキの配置が変わることはないのに、なんでパソコンはバラバラなのか? そんなことをいつも考えていました。縁あって、Sさんという視覚障がい者の方のパソコンボランティアを始めたことが、

彼らに一步踏み込むチャンスになりました。スクリーンリーダーという、音声で画面と操作を読み上げてくれるソフトを使いこなして、マウスは一切使わずにキーボードだけでエクセルの書類を作っていくのを初めて見たときは驚きでした。そのときにSさんと大いに盛り上がったのが「心身ともに100%健康な健常者って存在するんでしょうか?」と考えた時に、「じゃあその逆は?」というテーマでした。

そうですね、一番のきっかけは、父親が脳梗塞で倒れた時からです。杖をつきながら歩けるぐらい元気になった頃に、一緒にエスカレーターに乗ろうとするとスピードが速すぎて乗れないのです。それならエレベータを使えばとその前まで来ると、箱とフロアーの間には杖が落ちるだけの大きな隙間がありました。

バリアフリーとかユニバーサルデザインとか、言葉ばかりが先行していますが、現実は大きく遅れているなと考えさせられました。

将来の夢は、使いやすい道具を創り出すことです。ユニバーサルデザインという単語が消えることはないでしょうが、誰もが使いやすいツールの開発で世の中に貢献できればと思います。

上原 英明

はまだたつろう氏の講演会

ボランティアってなんだろう 6月7日



ラーメンを配達する「おか持ち」をもって舞台へ登場。「目出度いモノです」と言いながら法被（ハッピー）を取り出す? 「法被だけにハッピー」と、会場の緊張を少しほぐしたところで、話をはじめました。

障害者施設へラーメンの配達に行ったとき、自分に向かって走ってくる子供がいて「何なんだ!？」と思った次の瞬間、その子がおか持ちを持ってくれたんだそうです。親切におか持ちを持ってくれたその子に対して、一瞬でも違和感を感じてしまった。その一瞬から障害者へ関わるすべての道がはじまったそうです。講演も終わりに近づき「まばらに埋まった席」に感謝をされました。「会場が満員でなくて良かった。お金を取るコンサートじゃないんだから。ひとりひとり、お越しになったお客様に気持ちを伝えることが出来ました」と。(大村で開催された講演会には、ドンキーワールドのパン部門が参加しました)

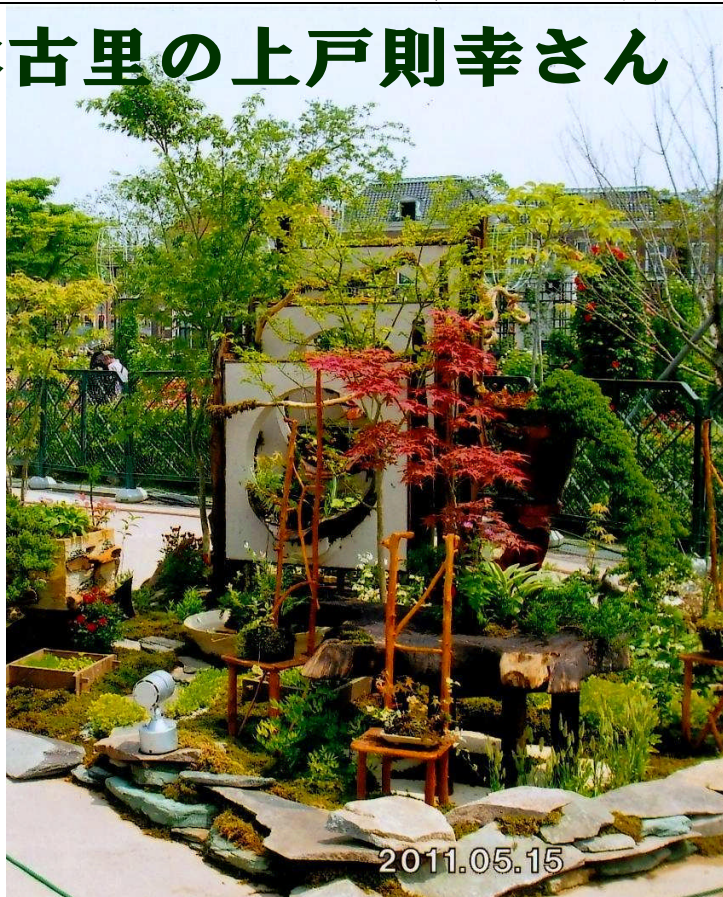
上原 英明

おめでとう!

木古里の上戸則幸さん

造園の世界大会出場

2011 年 5 月 14 日 ハウステンボスで開催された「ガーデニングワールドカップ 2011」の国内予選で、タックでフラワーアレンジメントを教えてくださいとある木古里の上戸さんが銀賞を受賞しました。上戸さんの造園は「再生 冬のさむさをのり越えて春の息吹を」のテーマに、日本の美しい風景をハウステンボスの場所をかりて再現したそうです。「日本は独特な美しさがあります。その美しさを再現し、日本の良さを再認識してもらえれば幸いです。」と語っていました。なお、世界大会は、ハウステンボスを会場に下記の日程で開催されます。(右の写真は銀賞を受賞した造園)



世界のトップガーデナーが競う花と緑の祭典



ガーデニングワールドカップ 2011 フラワーショー
GARDENING WORLD CUP 2011 FLOWER SHOW

本選 10月8日(土)～11月6日(日)

毎月第 2 日曜日は、木古里の上戸さんの指導でフラワーアレンジ教室がタックで開催されています。参加ご希望の方は、ご連絡ください。
電話：090-4988-8929 (森)

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
連日の猛暑の中、熱中症に気をつけて、この季節をのりきって行きましょう。

●今回は特に初心に戻って、原稿を書いたなかまの気持ち皆さんにうまく伝わるように、何度も編集しましたが、いかがでしたか。 大賀

●印刷部三人が、上原さんに指示を受けながら何とか完成することができました。これからは内容を充実させていきます。 木寺

●話取材したことを、文章で表現する難しさを知りました。私はとにかく時間がかかりすぎます。今後はもっと早くできるようにします。 森

●通信 40 号を発行できて感謝です。「人に教える事は自分も学ぶこと」この言葉を実感しながら、次号の段取りと割り振りを考えています。 上原

おしらせ



7月25日(月) 諫早万灯川まつり

本明川を万灯で照らし、54 年前の諫早大水害で犠牲になった方々の鎮魂を祈ります。その後、花火が夜空を彩ります。ドンキーワールドでもこの晩は、なかまたちが夜 9 時過ぎまで冷たい飲料水やパンを販売しながら参加します。

8月12日(金)～16日(火) ドンキーワールドも、タックもお盆やすみです。

9月17日(土)～18日(日) のんのご諫早まつり

別名“皿踊り”といわれる諫早のんのごまつりまち踊りやコンテストに向けて、子どもたちから職場のなかまなど、もうあちこちで練習がはじまっています。

9月25日(日)～26日(月) 秋の研修旅行(伊王島)

すでにドンキーではこの話題でもちきりです。